

「やさしく かしこく たくましく」

学校評価だより

令和3年10月1日 佐渡市立畑野小学校

<http://hatano-es.sado.ed.jp/>

メール hatano-es@sado.ed.jp

中間評価について

校長 古塩 正明

『学校評価だより』では、これまでの取組の中間評価についてお知らせします。十分に成果が上がっている項目もありますが、さらに工夫改善を要する項目もあります。内容や方法をさらに工夫し子どもたちの成長を確かなものにしていきたいと考えています。

これからも、保護者、地域の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

1 学力向上の取組の充実

目標① 単元テストで、国語と算数ともにクラス平均80%以上にする。



評価 【A】 全学年が達成
【B】 4学年以上が達成
【C】 達成した学年が4学年未満



A

全学年

目標② アンケートで、「家庭学習を学年×10分を5日以上やっている」児童の割合を80%以上にする。

評価 【A】 全学年が達成
【B】 4学年以上が達成
【C】 達成した学年が4学年未満



C

3学年

課題と改善に向けた方策

- 家庭学習を学年×10分間5日以上やっている児童の割合が低いため、宿題量の調整や自主学習の進め方の確認、家庭学習の意味を伝える活動を行う。
- 家庭学習強調週間時に、中学校のテスト前の取り組み方の紹介や自主学習の計画表、各学年でめあての設定を行う。

学校関係者評価委員のご意見

- 自主学習で何を、どのようにやったらよいかイメージできないのではないか。
- ノートづくりやノートを使った学習について指導していくとよい。
- 小中学校で連携して、自主学習の進め方を確認し、同一歩調で進めていくことが重要ではないか。
- タブレットを効果的に使っていく必要がある。

2 いじめ・不登校を生まない学校づくり

目標 学校生活アンケート「学校が楽しい」で90%以上の児童が肯定的な回答をする。

評価 【A】 90%以上
【B】 80%以上
【C】 80%未満

→ A

学校生活アンケート 91%

課題と改善に向けた方策

- 学校が楽しいと肯定的に回答する児童が90%に達した。よりよい人間関係づくりやそのためのスキル獲得を目指した活動を今後も積極的に行っていきたい。
- 教育委員会と連携をし、いじめの対応を行ってきた。今後も子どものSOSを見逃さないよう、心の健康チェックを有効に活用し、保護者・学校・他機関等と連携をしていじめの対応をしていきたい。
- 学校・家庭・地域三位一体となり、よい手本を見せていくことで相手を思いやった言葉遣いや気持ちのよい挨拶ができるよう取り組んでいきたい。

学校関係者評価委員のご意見

- ワクチン接種が広がってきたことで、今後、コロナ禍でも工夫すれば様々な活動ができるようになるのではないかと。状況を見ながら、できるということを増やしていき、子どもたちの活動機会を設けていくことで、健やかな成長を育んでいく必要がある。

3 健やかな体づくり

目標 家庭学習強調週間で、メディアの時間（平日1時間・休日2時間以内）が守れた児童の割合を80%以上にする。

評価 【A】 児童の割合80%以上
【B】 60%以上～80%未満
【C】 児童の割合60%未満

→ B

68.6%

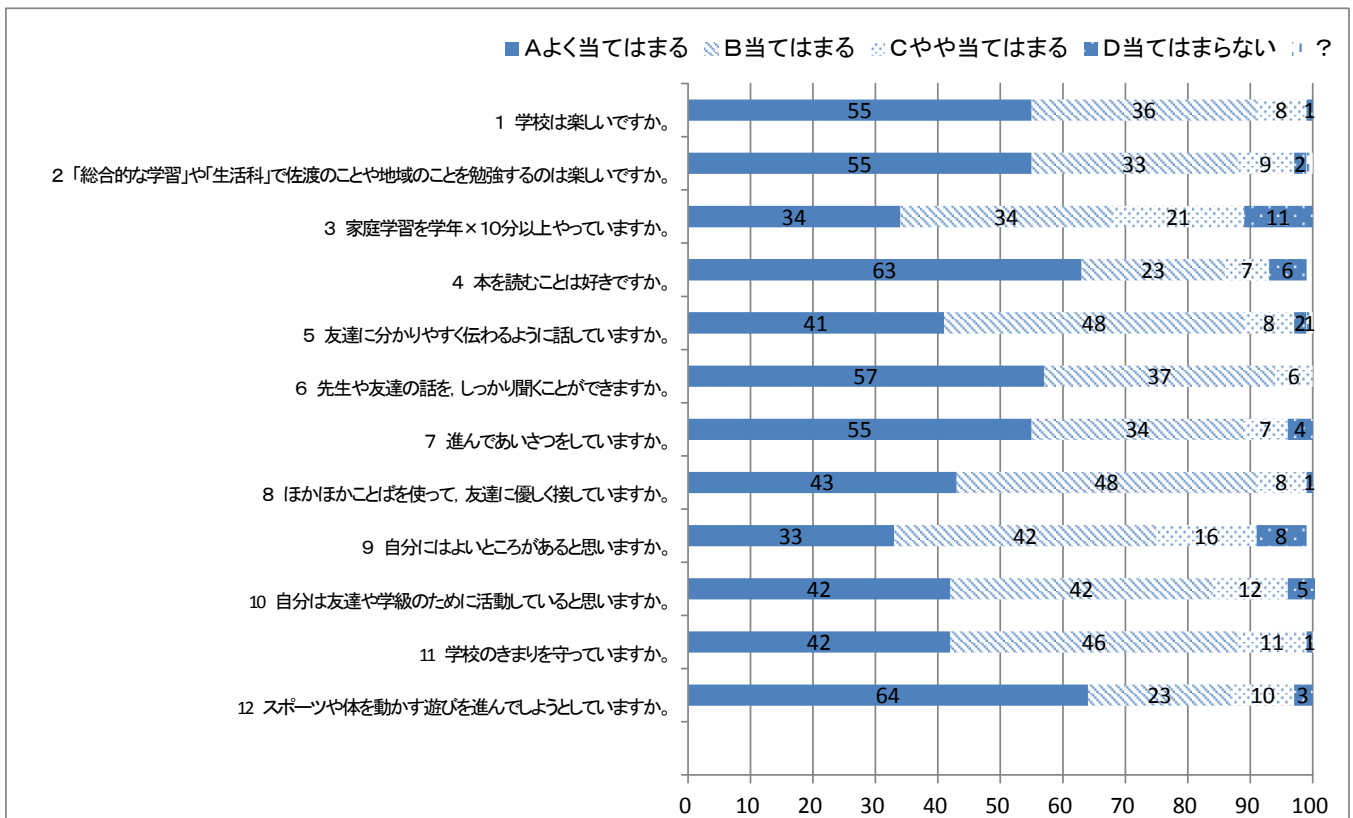
課題と改善に向けた方策

- 日々の声かけと家庭学習強調週間の活用により、メディアコントロールできるように指導します。
- 保健や学級活動の時間、たより等を活用して、健康な生活のしかたについて指導します。

学校関係者評価委員のご意見

- 子どものメディアリテラシー（テレビ、新聞、インターネットなどの特性を理解して使いこなす能力）を育成していく必要がある。
- 情報モラル教育をすることで、コンピューターやタブレット、スマートフォンなどを正しく使う指導をしていく必要がある。

【前期児童アンケート集計結果】



【前期保護者アンケート集計結果】

